令和７年度　第３号
発行日６月２日(月)
練馬区立豊玉第二中学校
校長　大野　雄一郎

豊玉二中だより

なぜ、テストが必要で大切か？

校長　大野雄一郎

梅雨入りが間近に感じられる季節となりました。運動会も無事に終了し、新たな目標に向かって、日々の学校生活を送っている人も多いと思います。

さて、間もなく第１回定期考査が始まります。テストと聞くと、少し憂鬱な気持ちになる人もいるかもしれません。「９教科もテストがあるなんて…」そう思ったことはありますか。今月は、テストが皆さんにとってなぜ必要で大切なのか、考えてみたいと思います。

【テストは自分の今の学力を教えてくれます】

毎日の学習では、新しい知識を身に付け、様々なことを学びます。テストは、その学習がどれくらい定着しているのか、どこまで理解できているのかを確認するための大切な機会です。今の自分の学力や理解度がどこにあるのかが分かり、自分なりの目標ができます。

【苦手を見つけ、得意を伸ばすチャンスです】

テストで良い点が取れるとうれしいのはもちろんですが、もし自分の目標点に達しなかったとしても、それは決して悪いことではありません。「ここがまだ理解できていない」「ここをもう少し頑張る」という苦手な部分や課題を見つけるチャンスになります。自分の弱点が分かれば、そこを重点的に復習したり、先生や友達に質問したりして、より効果的に学習を進めることができます。また、得意分野などを再確認することで、自信にもつながります。

【目標達成のための大切なステップです】

中学校を卒業すれば、上級学校への進学を考える人も多いでしょう。受験でも、学力テストは重要な合否の判定材料の一つです。日々のテストを通して、自分の学力がどれくらいなのかを知り、目標とする進路を実現するために何をすべきかを考えることができます。

【テストを通して成長する「力」があります】

テスト勉強を通して、皆さんは様々な力を身に付けていきます。計画を立てて取り組む計画力、限られた時間で集中して取り組む集中力、そして、難しい問題に諦めずに挑戦する粘り強さ。これらの力は、テストの結果だけでなく、これからの中学校生活で様々な困難に立ち向かう上で、きっと皆さんの役に立つはずです。

このようにテストを通して、いろいろ大切な面があります。そのためにも、テスト勉強を早めに開始することを期待しています。